

令和 7 年度 大阪府立吹田高等学校 学校教育自己診断 (生徒・保護者)

集計結果の分析と
今後の取り組み



【はじめに】

今年度も、生徒並びに保護者の皆様のご意見を反映し、より良い学校運営に資するため、「学校教育自己診断」を実施いたしました。お忙しい中にも関わりませず、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。

その集計結果と今後の取り組みについてまとめましたので、お届けいたします。

【資料の見方】

吹田高校では、他の大阪府立の高等学校と同じく年度当初に「学校経営計画」を策定し、その実現に向けて、教職員が力を合わせ、学校教育に取り組んでいます。

そこで、今年度の学校教育自己診断の結果等につきましても、質問毎に「学校経営計画」との対応がわかるように整理しました。

*「学校経営計画」は本校のホームページ（以降、HPと記します）に掲載しておりますので、あわせてご覧ください

本資料の見方は、以下の通りです。

「学校経営計画」の今年度の重点目標に含まれるかまたは近いテーマ

- ◇ その項目に関わる質問 と アンケート集計結果
- 「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所
- アンケート結果に対する学校の受け止め方（分析）
- 来年度以降の指導の方向性（対応）

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的 回答率	
1	あなたは学校に行くことが楽しいですか。	1 年	43.68%	36.21%	14.94%	5.17%	79.9%	81.0%
		2 年	40.46%	43.35%	12.72%	3.47%	83.8%	
		3 年	43.06%	36.11%	18.06%	2.78%	79.2%	

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的 回答率
1	子どもは、学校が楽しいと言っている。	35.0%	45.0%	18.6%	1.4%	80.0%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 1 (1) ア

■【学校の受け止め方（分析）】 【来年度以降の指導の方向性（対応）】

学校が生徒の皆さんにとって居心地のいい場所、自身の居場所として感じてもらえているかを知る大事な質問と考えています。昨年度から引き続き、今年度も肯定的な回答が増えています。100%を目標に教育活動を進めていきます。

全ての方にご納得いただける学校運営は難しいと感じていますが、自由記述を含めて今回いただいているご意見を参考にさせていただきます。また、学校には相談室（みかんルーム）を設置していますので、学習、人間関係、日常生活など、どのようなことでも思い悩むことがあれば遠慮なく利用していただきたいです。学校が生徒にとっての大切な居場所であり、楽しいと感じる場面を作っていくように、全教職員で安心できる学校づくりをしていきます。

1 遅刻・頭髪・登下校時のマナー指導

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的 回答率	
2	あなたは毎朝遅刻をしないように意識をしていますか。	1 年	68.60%	23.26%	5.23%	2.91%	91.9%	92.3%
		2 年	67.63%	23.70%	5.78%	2.89%	91.3%	
		3 年	63.89%	29.86%	6.25%	0.00%	93.8%	
3	あなたは登下校時に、交通ルール・マナーを守るように努めていますか。	1 年	74.14%	21.84%	1.72%	2.30%	96.0%	97.3%
		2 年	63.58%	32.95%	1.16%	2.31%	96.5%	
		3 年	75.00%	24.31%	0.69%	0.00%	99.3%	

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的 回答率
2	学校の遅刻指導（早朝登校と入室許可書）について理解できる。（通院などの特別な場合を除く）	52.2%	39.2%	6.8%	1.8%	91.4%
3	学校の頭髪指導について理解できる。	49.3%	37.1%	10.8%	2.9%	86.3%
4	学校の携帯電話指導について理解できる。（授業中の携帯電話使用やSNSによる不適切投稿など）	68.1%	28.3%	3.2%	0.4%	96.4%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → Ⅰ（Ⅰ）ア

■【学校の受け止め方（分析）】＜生徒＞

各項目において肯定的な回答が 90%以上と非常に高い水準を維持していることが分かります。中でも交通マナーに関しては、過去 3 年間いずれも 97%を超えており、学校全体として意識の定着が進んでいることがうかがえます。特に現 3 年生の推移では、1 年次から肯定率が年々上昇し続け、今年度はついに 99%を超えるという驚異的な結果となりました。交通マナーに限らず、生活習慣や校内のルールに対する理解や意識も、少しずつではありますが、定着しつつあると感じています。

一方で、その意識が必ずしも行動に結びついていないと感じる場面もあります。遅刻者数は年々増加傾向にあり、中には大幅な遅刻を繰り返す生徒も一定数見られます。授業を大切にすることは、自分自身の将来、ひいては人生を大切にすることにつながります。だからこそ、生徒には朝から元気に登校し、一日を気持ちよくスタートさせ、よりよい学校生活を送ってもらいたいと考えています。

■【学校の受け止め方（分析）】＜保護者＞

項目 2 および 4 について 90%以上の肯定的な回答をいただきました。時間を守ることの大切さや、正しく携帯電話やスマートフォンへ向き合うための本校の指導方針が、日頃からご家庭にもしっかり伝わっていると感じられる結果となりました。

一方で、頭髪指導に関する項目については、他の項目と比べて肯定率がやや低い傾向が見られました。この点については、あらためて指導の目的や方針を、より丁寧に保護者の皆さまにお伝えしていく必要があると考えています。本校における身だしなみ指導は、「3 年後の進路指導」を見据えた教育の一環です。近年、進学・就職ともに面接が重視される傾向が強まっており、第一印象を左右する身だしなみは、将来を切り拓くための重要な基礎となります。

日頃の学校生活の中で身だしなみを意識することは、自分自身と向き合うきっかけにもなり、ひいては進路実現へとつながります。今後も本校では、生徒の将来を見据えた指導に力を入れてまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】＜生徒＞

遅刻指導については、「基本的な生活習慣の確立」を目標に、早朝登校指導や振り返りシート等を活用した前向きな指導を継続します。また、通学安全指導については、「命を守る行動」を意識しつつ、青切符など新たな制度に対応できるよう周知徹底に努めます。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】＜保護者＞

次年度の生徒指導では、「生徒の命と未来（進路）のための生徒指導」を理念として引き続き掲げ、時代に合った指導の在り方を追求していきます。また、保護者の皆さまと一層連携を深め、家庭と学校が協力して生徒を支えられる体制を築き、生徒が安全で安心して学校生活を送れるよう取り組んでまいります。

2 学校行事・部活動のさらなる充実・活性化

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率	
4	あなたは遠足、体育祭、文化祭などの学校行事に自主的・積極的に参加していますか。	1年	70.11%	22.41%	5.17%	2.30%	92.5%	92.7%
		2年	64.16%	27.75%	5.78%	2.31%	91.9%	
		3年	67.13%	26.57%	3.50%	2.80%	93.7%	
5	学校の部活動は活発だと思いますか。	1年	41.92%	35.93%	13.17%	8.98%	77.8%	80.5%
		2年	39.18%	42.11%	11.11%	7.60%	81.3%	
		3年	40.85%	41.55%	10.56%	7.04%	82.4%	

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
9	学校の体育祭、文化祭に子どもは自らすすんで取り組んでいる。	41.8%	45.7%	10.4%	2.1%	87.5%
10	学校の部活動は活発である。	22.7%	46.9%	25.3%	5.1%	69.7%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 1 (2) ア

■【学校の受け止め方（分析）】

行事への積極的参加について、今年度の肯定的回答率は、昨年度と比べ生徒は 2.5%の大幅上昇、保護者・教職員は 1%未満の上昇となりました。昨年度の反省点を活かし、生徒が活躍できる場としての行事づくりに取り組んできた成果が出たと考えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今年度は昨年度よりも肯定的回答率が高く、一定の成果は出たと考えておりますが、皆様より頂戴したご意見や反省点もまだある状況です。それらを速やかに検討し、来年度の行事が一層充実したものとなるよう改善を進めます。

また、生徒会部に加え、担任ならびに文化祭に参加するクラブの顧問とも密接に連携を図り、すべての関係者にとって行事の満足度がより高まるよう努めます。

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 1 (2) ウ

■【学校の受け止め方（分析）】

部活動について、昨年度と比べ生徒の肯定的回答率が 5.8%上昇という大幅上昇を達成しました。しかしながら、保護者の肯定的回答率は 0.9%の下落、教職員は 0.2%の微増という結果になりました。これらの結果を踏まえ、生徒会部では、部活動は活発になっているものの、それが保護者をはじめとする外部に実感してもらえていないと考えております。この点について、広報活動をさらに強化していく必要があると考えています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

校外の皆様にも、本校の部活動について一層ご理解いただくことを目的として、今年度は部活動ブログの更新数を増やすことに重点を置き、昨年度より大幅に更新回数を増加させてきました。しかしながら、その成果が十分に表れていない状況から、部活動ブログ自体の認知がまだ行き届いていないものと考えています。

来年度につきましては、引き続き部活動ブログの更新数の増加を図るとともに、その存在を広く周知できる機会を増やし、より効果的な情報発信となるよう改善します。

3 教育相談・支援教育の充実

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率	
6	学校に悩みを相談できる場があると感じていますか。（先生や部屋）	1年	36.78%	37.93%	16.67%	8.62%	74.7%	80.0%
		2年	37.79%	43.60%	13.95%	4.65%	81.4%	
		3年	46.85%	37.06%	13.99%	2.10%	83.9%	

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
5	生徒が保健室や生徒相談室などで気軽に教員に悩みを相談できる。	20.6%	51.6%	23.8%	4.0%	72.2%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 3（1）ア

■【学校の受け止め方（分析）】

「教育相談・支援教育の充実」について、80%の生徒、70%以上の保護者が肯定的に回答しており、前年度より高い結果となりました。

教育相談・支援教育の充実のために、教職員が一丸となって生徒が気軽に相談できる体制を築いてきました。「みかんルーム（教育相談室）」では、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーが定期的に来校し、個別相談やケース会議を継続して実施しています。教職員は授業だけでなく様々な場面で日頃から生徒とコミュニケーションを取り、良好な関係を築くことができていると思います。このような人間関係が、今回の結果につながっていると考えられます。また、専門機関と連携し、薬物乱用防止教室、デートDV予防啓発出前授業、思春期講座、他者理解のための講演会、健康教育セミナーなど、心身の健康の充実について意識を高める教育活動も行っております。生徒が心身の健康に関心を持ち、また解決の手段を持つことにつながっていけるよう、より一層努めてまいります。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

これまで同様、生徒たち一人ひとりの悩みや想いを真摯に受け止め、それぞれのケースに応じたきめ細かな対応を心がけるとともに、様々な課題を持つ生徒の早期発見に努め、生徒自らが自己実現に向けて行動していけるよう支援していきたいと考えています。本校では、支援教育に対する教職員の意識は高く、職員研修等を通して教育の質の向上に努めています。さまざまな生徒のニーズに対応

できるよう、関係機関並びに保護者の皆様との連携を深めながら、さらなる教育相談、支援教育の充実をめざします。今後も引き続き、お子様に関わっての悩み、お気づきのことなどがあれば、お気軽に学校にご相談ください。

4 互いを認め合える集団づくり

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかとい ええばそう 思う	どちらかとい ええばそう 思わない	そう思わな い	R07肯定的 回答率	
7	学校では人権に関して学ぶ機会があると思いますか。（在日外国人、障がい者理解、同和問題、ジェンダー等）	1 年	39.53%	47.09%	9.30%	4.07%	86.6%	89.9%
		2 年	51.46%	41.52%	4.68%	2.34%	93.0%	
		3 年	45.45%	44.76%	8.39%	1.40%	90.2%	
8	学校は「いじめ」や「暴力」などいろいろな問題を見逃さず対応していると思いますか。	1 年	39.66%	43.10%	13.22%	4.02%	82.8%	82.7%
		2 年	33.53%	45.09%	13.29%	8.09%	78.6%	
		3 年	45.83%	40.97%	11.81%	1.39%	86.8%	

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
8	学校では、すべての生徒の尊厳が守られ、基本的人権が尊重されるように、人権学習、いじめの実態把握を行っている。	14.8%	54.9%	26.7%	3.6%	69.7%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → Ⅰ（２）イ

■【学校の受け止め方（分析）】

項目7に対する肯定的な回答は、1年生 86.6%、2年生 93.0%、3年生 90.2%、全体平均 89.9%と昨年度の 83.1%から 6.8%増となりました。これは各学年において人権 HR などの取り組みを通して改善されたものと分析しております。

項目8に対する肯定的な回答は、1年生 82.8%、2年生 78.6%、3年生 86.8%、全体平均 82.7%となり、昨年度の 79.9%から約3%増となりました。いじめアンケートを3回実施し、事後の聞き取りを丁寧に行っていること。また、生徒からの問題提起に対しても担任を中心として丁寧に聞き取りを行い、必要に応じて会議を開いて対応していることがアンケート結果を改善できた一つの要因と考えています。一方で各学年の2割弱程度の生徒は否定的な回答をしており、すべての生徒が安心して安全な学校生活を送れる学校づくりが急務であり、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

また、生徒向けアンケートでは改善傾向にありますが、保護者向けアンケート結果においては質問項目8において肯定的な回答の割合が昨年度の 74.8%から 69.7%に減少してしまいました。これは学校での活動が十分にご家庭に伝えられていなかったことから起こってしまったと考えております。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

今年度は2年生で新たに同和問題を取り扱う人権 HR を導入しました。来年度以降も各学年人権教育計画を作成し、目の前の生徒たちにどのようなことを学んで欲しいのか、今必要な学びは何なのかを考えながら既存の内容にとらわれず必要な人権教育を推進していきたいと考えております。

現代社会では様々な人権問題が生起しております。その中には「知らない」ということから起こっ

ているものも少なくありません。生徒達には少しでも多く人権問題や課題に触れてもらいそこから自分の人権感覚を身に付けていてもらいたいです。

また、学校での人権教育についてどのようなことに取り組んだのか保護者のみなさまにわかりやすくお伝えしていく方法についても検討し速やかに実施していきたいとかがえております。

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率	
10	あなたは授業やLHR、講演会などの機会を通して、情報モラル等を身につけることができていますか。	1年	51.46%	39.77%	6.43%	2.34%	91.2%	92.4%
		2年	51.74%	41.28%	4.65%	2.33%	93.0%	
		3年	57.75%	35.21%	6.34%	0.70%	93.0%	

■【学校の受け止め方（分析）】

昨年度より微増の 92.4%の肯定的な割合となりました。全体の 9 割を超える生徒が情報モラルを身に付けることができていると回答しています。しかし一方でこれは危険なことなのではないかとも主担としては考えています。もちろん入学当初しっかりとネットモラル講習会を開催していますし、情報科の授業の中でも必ず触れているところではありますが、この問題に関しても常に自らの知識をアップデートしていかなければならない領域の問題であると思うので、真の意味で情報モラル等を生徒が獲得できたといえる環境整備に努めなければならないと改めて感じました。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

昨年度から新入生向けの情報モラル講演会を生徒指導部が主導となって行っております。来年度に向けては人権教育推進委員会と生徒指導部が協力してよりよい形で行えるように内容含め改善していきたいと思ひます。

5 安全管理の徹底、校内美化の推進と外部機関との連携

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率	
9	あなたは日頃、学校で清掃するなど、校内美化に努めていますか。	1年	33.33%	40.80%	20.11%	5.75%	74.1%	78.2%
		2年	32.37%	45.66%	17.92%	4.05%	78.0%	
		3年	44.37%	38.03%	15.49%	2.11%	82.4%	

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 3 (1) ウ

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
7	校内は、清掃が行き届いている。	8.6%	48.6%	33.1%	9.7%	57.2%

■【学校の受け止め方（分析）】

「校内美化の推進」について、生徒の 78.2%、保護者の 57.2%が肯定的に回答しています。歴史ある学校であるため、校舎設備の老朽化や水道設備の不足により、清掃活動が難しいという側面が影響しているかもしれません。通常清掃、清掃徹底週間、施設設備の安全点検、生徒保健委員による学校環境美化啓発活動（清掃点検、ポスター掲示など）は引き続き行っています。安全点検で所見があった箇所については、速やかに対応しています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

校舎設備老朽化の改善については、府教育庁に引き続き計画的な整備を要望していきます。生徒・教職員の一人ひとりが「自分の学校・母校」という気持ちで清掃に取り組むことで、「古いけれど、手入れの行き届いた清潔な学校」につながると考えています。自らが過ごす環境を自らの手で清潔に保つことは、将来の社会生活を行う上でも大切です。今後も美化意識の定着に向けて、継続して指導していきたいと考えています。清掃の行き届いたさわやかな環境で、学校生活を送る喜びを生徒が感じられるよう、引き続き指導してまいります。

6 授業規範の確立と授業マナーの向上

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
11	先生は、生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずに注意していると思いますか。	1年	49.43%	39.66%	7.47%	3.45%	89.1%
		2年	41.04%	39.88%	13.29%	5.78%	80.9%
		3年	42.25%	38.03%	15.49%	4.23%	80.3%
12	あなたは、授業中に私語や勝手な行動をすることなく集中して学習していますか。	1年	50.00%	40.12%	6.98%	2.91%	90.1%
		2年	46.24%	43.35%	7.51%	2.89%	89.6%
		3年	58.74%	36.36%	4.90%	0.00%	95.1%
13	学校の授業は進路希望に応じて、コースや選択科目が選べるようになっていると思いますか。	1年	59.54%	34.68%	3.47%	2.31%	94.2%
		2年	59.54%	36.99%	2.31%	1.16%	96.5%
		3年	66.20%	30.99%	2.82%	0.00%	97.2%

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
11	子どもは学校の授業内容に満足している。（わかる、興味が持てる）	13.6%	55.4%	27.1%	3.9%	68.9%
12	学校のカリキュラム（授業科目の配置等）は、子どもの進路希望に応じたコースや選択科目が選べるようになっている。	31.7%	57.6%	10.1%	0.7%	89.2%

■【学校の受け止め方（分析）】

8割ほどの生徒が「先生は生徒の授業中の私語や勝手な行動を見逃さずにきっちりと注意していると思います」と捉えてくれていますが、一方で全学年を通じて2割ほどの生徒が「授業中に生徒への注意をしていない」と否定的な回答をしています。高校生活の基本は授業であり、どの学年、どの

授業においても授業規律は保たれている状態が望ましく、生徒の皆さんの意見は重く受け止めています。また、約 1/3 の保護者の皆様が、お子様が吹田高校の授業に満足していないと感じられていることがわかります。少なくない皆さんから否定的な回答をいただいたことは、あらためて学校として真摯に受けとめ、授業に興味をもたせる一層の工夫や、学習に対して不安がある生徒に対するさらなるケアが必要だと認識しており、引き続き改善を図りたいと思います。

教育課程に関しては、どの学年も 9 割以上の生徒が満足していると捉えることができます。一方で、教育課程と進路希望が結びついていないというご意見も少なからずございます。新カリキュラムになってから 3 年が経ちましたので、カリキュラムについて改めて考えていきたいと思っています。その際にはこれらのご意見を真摯に受け止め、よりよい教育課程を作り上げていくよう尽力いたします。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

一般的に、高校での授業はただ単純に楽しいだけのものではなく、充実感や達成感を得るためには自分自身の努力が必要ですが、生徒に一定の学力をつけることは学校として当然の責務であり、中でも授業は学校の根幹をなすものです。今回の結果を踏まえ、すべての教員が自らの授業技術を磨く必要性をさらに強く自覚し、一つ一つ丁寧に取り組むことで総合的な授業力の向上に努めてまいります。また、科目や教科単位で年間の到達目標や評価基準を明確にし、生徒が目指す資質・能力を示すことで、計画的に授業を実施していく所存でございます。

一方で、授業はまさに教員と生徒の共同作業であり、お互いが求められる役割と責任を果たすことで初めて「よい授業、興味が持て、わかる授業」が成立します。授業規律の確立について、生徒の皆さんに自身の行動を見直すこと、必要な予習や復習をすることなどを、学校としても強く求めています。そのため相互の授業見学や研修などを積極的に取り入れていきたいと考えております。保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、生徒が学ぶこと、新たな知識を得ることの楽しさと大切さに気づくことができる授業や教育課程の作成に、引き続き学校をあげて取り組んでいきたいと思っています。

7 三年間を見据えた系統的な進路指導

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	R07肯定的 回答率	
14	学校が提供している進路に関する情報や 進路HRは、あなたが将来の進路を考え るうえで役立っていると思いますか。	1 年	51.15%	40.23%	6.32%	2.30%	91.4%	93.2%
		2 年	44.51%	48.55%	5.20%	1.73%	93.1%	
		3 年	54.93%	40.14%	4.93%	0.00%	95.1%	

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
13	学校では、子どもの進路実現に役立つ情報提供が適切に行われている。	26.0%	58.5%	13.4%	2.2%	84.5%
14	学校では、子どもの学力向上のための講習・補習などが適切に行われている。	18.0%	56.5%	24.1%	1.4%	74.5%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 1 (3) ア

■【学校の受け止め方（分析）】

生徒アンケート 14 は昨年度比+0.5%となり、概ね生徒のニーズに応える情報提供・進路 HR を実施できていると捉えています。保護者アンケート 13 は昨年度比 -1.6%となり、メルマガでの情報提供だけでは不十分であるかもしれないことがわかりました。保護者アンケート 14 は昨年度比+2.4%となり、教員の多忙感が増す中ではありますが、できる限りの講習はしていく必要があると感じています。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

生徒への情報提供・進路 HR に関しては、ひき続き生徒のニーズを感じ取りながら内容を精査し、実施していきます。また、保護者への情報提供は定期的に進路通信を出し、よりきめ細やかに情報提供をしていきたいと思ひます。講習・補習については多忙感が増す中、難しさはあるが、進学講習だけでなく、定期考査前の講習・補習を実施するのが望ましいと考えます。

8 その他

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらかとい えばそう 思わない	そう思わ ない	R07肯定的 回答率	
15	先生は自分たちのために一生懸命に指導 してくれていると思いますか。	1 年	57.47%	36.21%	4.02%	2.30%	93.7%	94.9%
		2 年	48.55%	46.82%	3.47%	1.16%	95.4%	
		3 年	61.70%	34.04%	2.84%	1.42%	95.7%	

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
15	学校の教職員は子どものために、一生懸命に指導をしている。	30.5%	56.3%	11.1%	2.2%	86.7%

■【学校の受け止め方（分析）】

教職員の指導については、昨年度に引き続き、生徒、保護者とも 8 割以上の肯定的な回答をいただいております。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

日常的な指導においては、生徒と教職員が相互に信頼できる関係性を基礎として、ルール、マナー、モラル、基本的生活態度（時間・服装・挨拶・言葉遣い）を全教員で粘り強く指導していきます。また、生徒個々の特性を見出し、社会の構成員としての資質や態度・能力の発達を図り、強く正しく生きる態度や能力の発達を助成するため、状況に応じた指導をしていきます。

こういった指導の成果が生徒を通じて保護者の方にも理解していただけるよう、今後も保護者・地域の皆さまからのご意見やご要望を真摯に受け止め、教職員が一丸となって教育活動に専心してまいります。指導について、疑問やご質問がございましたら、お気軽にご連絡ください。

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
16	個人懇談、進路説明会などに積極的に参加している。	23.3%	48.0%	25.4%	3.2%	71.3%

■【学校の受け止め方（分析）】

保護者の方に学校に来ていただくことは、学校をより知っていただけるいい機会と考えます。今後も多くの保護者の方に学校へ来ていただけるよう、個人懇談、進路説明会などを実施していきます。

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
17	学校からの情報や連絡は、配布物やホームページ、メールマガジン等を通して把握している。	38.1%	46.6%	12.1%	3.2%	84.7%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 4. (3) イ

■【学校の受け止め方（分析）】

引き続き、多くの保護者の方に学校の情報をお届けすることができています。

生徒と保護者を含む中学生や一般の方へはホームページと X、保護者へはメールマガジン、生徒へは Classroom と状況に応じて連絡手段を使い分け、緊急情報は土日であっても発信しています。なお、今年度はホームページを刷新し、多方面から評価をいただいています。その中の校長ブログ、部活動ブログでは学校の動きを把握していただきやすくしています。また、Instagram を開設し、主に中学生とその保護者向けに情報を発信するなど、情報発信にはより力を入れています。欠席等の連絡には Google フォームを利用し、保護者からの連絡をスムーズに受け取ることができています。さらに、Google カレンダーで行事予定を閲覧できるようにしていますので、ご家庭でも活用してください。

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
18	学校は、家庭への連絡や保護者との意思疎通をきめ細かく行っている。	24.6%	45.6%	25.6%	4.3%	70.1%

□【「学校経営計画」における今年度の重点目標の項目箇所】

質問 → 4. (3) ア

■【学校の受け止め方（分析）】

肯定的な回答が増えてきていますが、まだまだ保護者の方と意思の疎通が必要だと感じています。

学校内での怪我や成績、各種指導など、生徒に何かあった際には保護者の方へ連絡をしております。ご家庭と学校との連携が大切だということを、引き続き全教職員へ周知してまいります。また、ご相談がある場合は、担任、学年主任などを中心にお話を聞かせていただきますので、お気軽にご連絡してください。

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
19	学校は近隣の地域施設や大学などとの連携を積極的に図っている。	21.2%	51.3%	26.0%	1.5%	72.5%

■【学校の受け止め方（分析）】

開かれた学校づくりをめざしている吹田高校の取り組みに対して、今年度も7割を超える保護者の方から肯定的な回答をいただきました。

専門学校、大学、中学校、吹田市クリエイティブセンター、近隣市区との連携として、出前授業、説明会などを行っていますが、今後もさらに地域、各種施設との連携を広げていくとともに、保護者の方にも活動を知っていただけるようにしていきます。

◇生徒へのアンケート

R7 質問		学年	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わ ない	R07肯定的 回答率	
16	1人1台端末(Chromebook)を授業や家庭学習で活用していますか。	1年	49.43%	34.48%	9.77%	6.32%	83.9%	83.4%
		2年	44.51%	35.84%	12.14%	7.51%	80.3%	
		3年	52.11%	33.80%	6.34%	7.75%	85.9%	

■【学校の受け止め方（分析）】

昨年度に引き続き、多くの生徒がChromebookを活用している状況が確認できました。

■【来年度以降の指導の方向性（対応）】

小学生の時から1人1台端末を貸与されていた生徒だけではなく、教員にとってもデジタル機材を使用することが通常となっています。生徒が1人1台端末を授業で活用することで、より理解を深め、また家庭での学習に役立てていくことができるよう、授業を中心に活用の幅を広げていきます。

◇保護者へのアンケート

R7 質問		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	R07肯定的回答率
20	「学校教育自己診断」の結果や学校運営協議会の情報をホームページに掲載していることを知っている。	12.9%	29.9%	31.7%	25.5%	42.8%

■【学校の受け止め方（分析）】

学校教育自己診断のホームページへの掲載は年1回、学校運営協議会については年3回の掲載ですので、タイミングを逃すと掲載していることを知っていただける機会はなくなってしまいます。ホームページへの掲載を他の連絡方法でも知っていただけるよう、検討していきます。